

## **障害者支援施設光生舎メディック・エル**

### **地域連携推進会議 会議構成員 地域連携推進員名簿**

(1) 利用者	居島裕輔 氏	
(2) 利用者家族	千葉 氏	千葉恭平 氏の母
(3) 地域の関係者	北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
	杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
	熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹

## **グループホーム翠**

### **地域連携推進会議 会議構成員 地域連携推進員名簿**

(1) 利用者	新藤好文 氏	
(2) 利用者家族	大西 氏	大西俊太郎さんの父
(3) 地域の関係者	北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
	杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
	熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹

## **障害者支援施設光生舎フーレビラ**

### **地域連携推進会議 会議構成員 地域連携推進員名簿**

(1) 利用者	遠藤守 氏	
(2) 利用者家族	今野雅樹 氏	今野氏の父 家族会直前会長
(3) 地域の関係者	北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
	杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
	熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹

## **障害者支援施設光生舎虹の里**

### **地域連携推進会議 会議構成員 地域連携推進員名簿**

(1) 利用者	西村 隆範 氏	
(2) 利用者家族	多田 美津子 氏	多田智子氏の母
(3) 地域の関係者	北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
	杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
	熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹

## 障害者支援施設光生舎虹の里 地域連携推進会議開催記録（次第）

※光生舎百戸地区 3 施設合同開催

会議	日時	2025年10月20日（月）13：45～14：15	
	場所	虹の里会議室	
	議題	1. 参加者確認 2. 障がいに関する説明（資料1） 3. 直近の近隣からの苦情について 4. 事業所の利用者の生活の様子 5. 経営状況の報告 6. B C P 策定状況について 7. 虐待、事故、ヒヤリハット報告 8. 支援者の様子 9. その他 ※13：00～家族施設見学 14：15～地域の構成員施設見学	
	構成員	西村 隆範 氏	光生舎虹の里 利用者
		多田 美津子 氏	光生舎虹の里 利用者ご家族
		熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹
		北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
		杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
		池田宜子	光生舎虹の里 係長
		横山悠也	光生舎虹の里 施設長

### 添付資料

- ・各種議題資料
- ・会議議事録
- ・事業所訪問記録

## 障害者支援施設光生舎フーレビラ 地域連携推進会議開催記録（次第）

※光生舎百戸地区 3 施設合同開催

会議	日時	2025年10月20日（月）13：45～14：15	
	場所	虹の里会議室	
	議題	1. 参加者確認 2. 障がいに関する説明（資料1） 3. 直近の近隣からの苦情について 4. 事業所の利用者の生活の様子 5. 経営状況の報告 6. B C P 策定状況について 7. 虐待、事故、ヒヤリハット報告 8. 支援者の様子 9. その他 ※13：00～家族施設見学 14：15～地域の構成員施設見学	
	構成員	遠藤守 氏	光生舎フーレビラ 利用者
		今野雅樹 氏	光生舎フーレビラ 利用者ご家族
		熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹
		北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
		杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
		長谷川大介	光生舎フーレビラ 係長
		越前竜治	光生舎フーレビラ 施設長

### 添付資料

- ・各種議題資料
- ・会議議事録
- ・事業所訪問記録

## 障害者支援施設光生舎メディック・エル 地域連携推進会議開催記録（次第）

※光生舎百戸地区3施設合同開催

会議	日時	2025年10月20日（月）13：45～14：15	
	場所	虹の里会議室	
	議題	1. 参加者確認 2. 障がいに関する説明（資料1） 3. 直近の近隣からの苦情について 4. 事業所の利用者の生活の様子 5. 経営状況の報告 6. B C P 策定状況について 7. 虐待、事故、ヒヤリハット報告 8. 支援者の様子 9. その他 ※13：00～家族施設見学 14：15～地域の構成員施設見学	
	構成員	居鳥裕輔 氏	光生舎メディック・エル 利用者
		千葉 氏	光生舎メディック・エル 利用者ご家族
		熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹
		北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
		杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
		勝本 真基	光生舎メディック・エル 施設長

### 添付資料

- ・各種議題資料
- ・会議議事録
- ・事業所訪問記録

共同生活援助事業所 グループホーム翠 地域連携推進会議開催記録（次第）

※光生舎百戸地区3施設合同開催

会議	日時	2025年10月20日（月）13：45～14：15	
	場所	虹の里会議室	
	議題	1. 参加者確認 2. 障がいに関する説明（資料1） 3. 直近の近隣からの苦情について 4. 事業所の利用者の生活の様子 5. 経営状況の報告 6. B C P 策定状況について 7. 虐待、事故、ヒヤリハット報告 8. 支援者の様子 9. その他 ※13：00～家族施設見学 14：15～地域の構成員施設見学	
	構成員	新藤好文 氏	グループホーム翠 利用者
		大西 氏	グループホーム翠 利用者ご家族
		熊谷弥生 氏	赤平市社会福祉課 主幹
		北村享司 氏	百戸町内会・北海道光生舎評議員
		杉川英雄 氏	元北海道光生舎監事
		勝本 真基	グループホーム翠 管理者

添付資料

- ・各種議題資料
- ・会議議事録
- ・事業所訪問記録

## 議事録

進行 総合司会 虹の里横山 メディック勝本 フーレビラ長谷川

その他の参加者 フーレビラ越前所長 フーレビラ貴田主任

記録 虹の里 横山

### 1. 参加者確認

進行により参加者の確認がなされた。

メディック・エル 構成員5名中5名の参加

GH翠 構成員5名中5名の参加

フーレビラ 構成員5名中5名の参加

虹の里 構成員5名中4名の参加 ご家族多田氏欠席

資料 1

### 2. 障害に関する説明（資料1）

進行により資料に基づき、説明がなされた。

代表的な障害の種類、各施設の特徴について。

- ・質問 なし
- ・意見 なし

### 3. 直近の近隣からの苦情について

資料 2

進行により資料に基づき、説明がなされた。

- ・質問 なし
- ・意見 なし

### 4. 事業所の利用者の生活の様子

資料 3

進行により資料に基づき、説明がなされた。

- ・質問 なし
- ・意見 なし

### 5. 経営状況の報告

資料 4

進行により資料に基づき、説明がなされた。

- ・質問
- ・意見

### 6. BCP策定状況について

資料 5

進行により資料に基づき、説明がなされた。

- ・質問 なし
- ・意見 なし

**7. 虐待、事故、ヒヤリハット報告**

資料 6

進行により資料に基づき、説明がなされた。

- ・質問 なし
- ・意見 なし

**8. 支援者の様子**

資料 7

進行により、虹の里外国人雇用の現状と今後の展望について説明がなされた。

- ・質問 なし
- ・意見 なし

**9. その他**

質問 杉川さんより この会の趣旨、何を見据えて参加すればよいのか。

回答 地域との連携強化により、利用者様の安心した生活につなげることが趣旨です。交流により地域や社会の資源を知り、触れる機会を作ったり、開けた施設運営により虐待の発生防止等に努めます。

質問 大西さんより 地域貢献、光生舎のお祭りに町内会の方が参加することなどはあるのか。

回答 来賓として町内会長をお招きしているほか、一般参加自由となっており、ご参加いただいております。

見学後 経営状況の資料、貸借対照表は堅苦しく、とっつきづらさがあると地域の構成員よりご意見をいただいた。

# 障がいに関する基礎知識！

## 障がいは主に「身体障がい」「知的障がい」 「精神障がい」の3つに大別されます

障がいとは、障がい者基本法によれば、「身体障がい、知的障がい、精神障がいがあるため、継続的に日常生活や社会生活において相当な制限を受ける者」を指します。この定義に基づくと、障がいは主に「身体障がい」「知的障がい」「精神障がい」の3つに大別されます。

身体障がいは、身体の一部に損傷や機能の制限があり、日常生活に支障をきたすものです。知的障がいは、認知能力や学習能力に問題があり、社会参加や自立が難しい状態を指します。精神障がいは、心の健康に関連する障がいであり、感情や行動の制御が難しくなることがあります。これらの障がいは、個々の人の状況や程度によって異なり、支援や配慮が必要とされる場合があります。

### 身体障がい

身体障がいとは、先天的な要因や病気、事故などにより身体機能に制限が生じる障がいのことです。身体障がい者福祉法では、5つの主要な種類に分類されています。

### 視覚障がい

視覚障がい者は、視力に関する問題によって日常生活に様々な困難を抱えます。例えば、移動時には安全なルートの確保や交通手段の利用に課題が生じます。読書や書類の理解、情報の収集、デジタル機器の操作なども困難を伴います。

また、視覚障がいによって生じる社会的孤立や心理的なストレスも考慮する必要があります。支援としては、点字や音声案内、拡大印刷物、音声合成技術などの利用が挙げられます。

## 聴覚障がい

聴覚障がい者は、**コミュニケーションや情報収集において困難を経験します。**日常生活では、会話や講義、公共のアナウンスなどが聞き取りにくい場合があります。特に、背景雑音のある環境や複数の話者がいる場面での情報の把握が難しくなります。**聴覚障がい者への支援策としては、手話や筆談、口話言語訓練、聴覚補助装置の利用などがあります。**

## 音声・言語機能またはそしゃく機能障がい

音声・言語機能の障がいやそしゃく機能障がいを持つ人々は、**コミュニケーションや食事において日常生活におけるさまざまな困難に直面します。**言葉の理解や発声が難しいため、コミュニケーションの円滑な進行が難しくなります。

また、そしゃく機能障がいを持つ人々は、**食事や嚥下に関する問題により、栄養摂取や健康管理に支障を来すことがあります。**これらの障がいへの対応としては、手話や文字によるコミュニケーション支援、食事内容や嚥下訓練の改善などが挙げられます。

## 肢体不自由

肢体不自由は、四肢や体幹の運動機能に障がいがある状態を指します。この障がいにより、日常生活において様々な困難が生じます。例えば、移動や身の回りの世話、衣服の着脱、食事の準備や摂取、さらには仕事や学校などの社会的な活動にも影響を及ぼします。肢体不自由の原因は多岐にわたります。

先天的な障がい、遺伝的な要因、疾患、事故や外傷など、さまざまな要因が考えられます。また、脳や脊髄の損傷、筋肉や関節の異常、先天性の四肢の発育不全なども肢体不自由の原因となります。リハビリテーションや適切な医療、補助具の利用など、個々の状況に応じた支援が重要です。

## 内部障がい

内部障がいは、**心臓や腎臓、免疫機能などの内部器官の機能に障がいがある状態を指します。**これらの障がいにより、全体的な体力低下や疲労感が生じます。心臓の機能障がいによる場合、身体のどこからでも不規則な動悸や息切れが起こることがあります。

腎臓の機能障がいでは、体内的余分な水分や老廃物が排泄されず、**浮腫や高血圧などの症状が現れることがあります。**免疫機能障がいによる場合、体が感染症に対して充分な抵抗力を持たず、さまざまな健康問題が生じる可能性があります。

これらの障がいの原因は、様々なものが考えられます。**心臓や腎臓の機能障がいは、疾患や生活習慣によるものが主な原因です。**免疫機能障がいは、遺伝的な要因や環境要因、または病気や治療によるものがあります。内部障がいは、適切な治療や管理が不可欠であり、それによって生活の質を改善することが可能です。

## 知的障がい

知的障がいの特徴を掘り下げるに、以下のような点が挙げられます。

- **知的発達の遅れや制限**

知的障がいは、**一般的な知的発達の遅れや制限が主な特徴です。**これは、認知能力、言語能力、学習能力、社会的な適応能力などに影響を与えます。

この遅れや制限は、人々が情報を処理し、問題を解決し、日常生活のスキルを獲得する能力に影響を及ぼします。

- **知的機能と適応機能の評価**

個々の知的障がいの程度は、知的機能と適応機能のレベルに基づいて評価されます。**知的機能は、知的テストによって測定されます。**これには、言語、数学、記憶、問題解決能力などが含まれます。

適応機能は、日常生活や社会生活における能力を示します。これには、**自己ケア、コミュニケーション、社会的相互作用、職業訓練などが含まれます。**

年齢に応じて、個人の能力や成長を評価し、必要な支援やサービスを提供するために、定期的な評価が行われます。

このような詳細な評価を通じて、個々のニーズや能力に合わせた適切な支援が提供され、知的障がいを持つ人々が最大限の可能性を引き出すことができるようになります。

## 日常生活における困難

影響について更に掘り下げるとき、知的障がいが日常生活や教育、雇用に及ぼす具体的な影響を理解することができます。

- ・**日常タスクの理解と実行**

知的障がいを持つ人々は、**日常のタスクやルーチンを理解し、実行することに困難を抱えることがあります。**これには、自己ケア、家事、買い物、交通手段の利用などが含まれます。

- ・**コミュニケーションの困難**

コミュニケーションは、**言語能力や社会的な適応能力が必要なため、知的障がいを持つ人々にとって困難な場合があります。**言葉の理解や表現、会話の流れや社会的なルールの理解に問題を抱えることがあります。

## 教育や雇用の制約

- ・**学習の制約**

知的障がいを持つ人々は、**学習や教育においても障がいを抱えることがあります。**特別な教育プログラムや支援が必要となることがあります。

- ・**雇用の制約**

一部の人々は、**知的障がいを克服し、職場で十分な支援を受けることで、一定の成果を達成することができます**。しかし、適切な教育や雇用の機会へのアクセスが難しい場合があります。また、**雇用先での適切な支援や配慮がないと、適切な役割を果たすことが難しいこともあります**。

これらの影響を考慮することで、知的障がいを持つ人々に対する支援やサービスが改善され、彼らがより満足度の高い生活を送ることができます。

## 社会的な関係の構築と維持

社会的な関係と自立について更に掘り下げる、以下の点が挙げられます。

- ・**コミュニケーションの障がい**

知的障がいを持つ人々は、**言語理解や表現の障がいから、コミュニケーションにおいて困難を抱えることがあります**。これにより、友情や家族関係の構築や維持に影響を与えることがあります。適切なコミュニケーション手段や支援が必要です。

- ・**適応能力の制限**

社会的な状況や関係に対する適応能力の制限も、知的障がいを持つ人々に影響を与えます。**新しい環境や社会的なイベントに対する適応が難しく、社会的な孤立や不安感を引き起こすことがあります**。

## 自立生活の目標の達成

- ・**生活スキルの向上**

自立生活を送るために、生活スキルの向上が不可欠です。これには、**日常生活の基本的なスキル（料理、清掃、買い物など）や社会生活に必要なスキル（コミュニケーション、交渉、問題解決など）の獲得が含まれます**。

- ・**適切な住居の提供**

自立生活を支援するためには、適切な住居の提供が必要です。これには、安全で快適な住環境や必要なサポートサービスへのアクセスが含まれます。

- ・**職業訓練**

**自立生活を実現するためには、適切な職業訓練や就労支援が必要です。**これにより、自己価値感や生活の質が向上し、社会参加が促進されます。

これらの支援が提供されることで、知的障がいを持つ人々が社会的な関係を築き、自立的かつ充実した生活を送ることができます。

## **精神障がい（発達障がいを含む）**

精神障がいは、感情や思考、行動に変化が現れ、日常生活に支障をきたす障がいを指します。その中でも、統合失調症や気分障がいはよく知られた代表的な例です。

## **統合失調症**

統合失調症は、現実感覚の歪みや幻覚、妄想などの症状が特徴的です。これにより、**患者は日常生活において困難を経験し、社会的な関係や職業生活に支障をきたすことがあります。**例えば、幻聴や被害妄想によって周囲とのコミュニケーションが困難になることがあります。

発症の原因是、**遺伝的な要因や生活環境、神経化学の変化などが関与すると考えられています。**また、ストレスやトラウマも発症に影響を与えることがあります。心理的な治療や薬物療法が一般的な治療法ですが、個々の症状や経過に応じてアプローチが異なります。

## ■ 気分障がい

気分障がいには、うつ病や双極性障がいなどが含まれます。うつ病では、患者は長期間にわたって抑うつ状態が続きます。双極性障がいでは、患者は抑うつと興奮の状態が交互に現れます。これらの気分変動により、患者は日常生活において様々な問題を抱えることがあります。

気分障がいの原因は、脳の神経化学の変化や遺伝的な要因、ストレスなどが関与します。特定の生活イベントや季節の変化も発症に影響を与えることがあります。治療法としては、薬物療法や心理療法、生活習慣の改善が行われますが、個々の症状や重症度によって治療方針が異なります。

これらの精神障がいは、個々の症状や影響が異なるため、適切な診断と治療が重要です。また、ストレスへの脆弱性を持つ人々が発症しやすいとされるため、心理的なサポートや適切なケアが必要です。

## ■ 発達障がい

発達障がいは、脳の発達に関する先天的な異常によって引き起こされるものであり、その特性は個々の障がいによって異なります。ここでは、よく知られている発達障がいのいくつかを詳しく見てみましょう。

### ・自閉スペクトラム症（ASD）

自閉スペクトラム症は、社会的な相互作用やコミュニケーション、興味や行動における制限されたパターンなどが特徴です。例えば、他人との関わりを避ける傾向や、反復的な行動が見られることがあります。

ASDは、生涯にわたって持続する障がいであり、個々の症状や重症度は大きく異なります。多くの場合、早期の介入や適切な支援が必要です。

### ・注意欠陥・多動症（ADHD）

ADHDは、注意力の欠如、衝動性、多動性などが特徴的な障がいです。これにより、学校や職場での集中力や組織力が低下し、日常生活に支障をきたすことがあります。

環境要因や遺伝的な要因が発症に関与する可能性があります。多くの場合、行動療法や薬物療法などが症状の管理に用いられます。

- ・学習障がい（LD）

学習障がいは、読み書きや計算などの基本的な学習スキルの獲得に困難を抱える障がいです。これにより、学業成績や学習へのモチベーションが低下し、自己価値感に影響を与えることがあります。

環境要因や遺伝的な要因が発症に関する可能性があります。個々のニーズに応じた教育的な支援や学習療法が重要です。

これらの発達障がいは、個々の特性や症状に応じて様々な支援や介入が必要です。早期の診断と適切な支援を提供することで、個々の能力を最大限に引き出し、日常生活における成功や満足度を高めることができます。

## 特性や影響は異なるが共通して理解される必要がある

これらの障がいには、個々の特性や影響が異なりますが、共通して理解される必要があります。支援やケアの提供においては、その人のニーズや特性を十分に理解し、個別化されたアプローチが重要です。また、二次障がいを引き起こす可能性も考慮する必要があります。

## まとめ

障がいは、身体的な制約から知的な遅れ、精神的な変化、発達上の課題まで、様々な形で現れます。それぞれの障がいは、個々の人の生活や関係に異なる影響を与えますが、理解と支援を通じて、誰もが充実した生活を送る機会を得ることができます。

## 事業所に寄せられた地域からの苦情について【虹の里】

### 1. R5年冬 特定技能外国人が入居している住宅の隣人より、除雪方法に対する苦情がございました。

敷地内の除雪のため、除雪機を使用していたところ、自分の所有する敷地内に少し雪が飛んできている。

まめに除雪しなくていいから、年に何度か手作業で除雪してほしい。との苦情でした。

対象の箇所は屋根からの落雪が溜まる場所で、量、雪質的に手作業排雪を行うことは厳しいこと

今シーズンは隣人の敷地内に雪が飛ばないよう配慮しながら除雪することと、翌シーズンは除雪機ではなくホイルローダーで雪を飛ばさない方法で除雪するようにすることを伝えご理解していただけました。

### 2. R6年春 特定技能外国人が入居している住宅の隣人より、除雪方法に対する苦情がございました。

ホイルローダーにて敷地内の排雪を行うため、用水路上に鉄板で蓋をし重機が入れるようにしました。

用水路管理局への確認を行い、対象の住民にも説明、了解を得ていただきましたが、雪解け後鉄板を撤去した際に、土がえぐれている。崩れるのではないか。と苦情がありました。

鉄板でへこんだ箇所に土を盛り、修復対応させていただきました。

上記2つに関しては共通の地域住民からの苦情です。

背景を確認したところ、用水周囲50cmは管理局所有となっており個人の土地ではありませんが、苦情を頂いた住民の方が土地を購入した際に、用水ギリギリまでの範囲と話を聞いて土地を購入しているよなお話をされていました。用水路きわが自身の土地であるとの主張から、用水路に蓋をすることや、用水路の上に重機が入ることに対して不満をいだかれているようでした。引き続き丁寧に説明し、ご理解をいただきながら対応して参ります。

事業所に寄せられた地域からの苦情について【フーレビラ】

苦情はありませんでした。

事業所に寄せられた地域からの苦情について【メディック・エル】

地域からの苦情はありませんでした。

**事業所に寄せられた地域からの苦情について【GH翠】**

地域からの苦情はありませんでした。

【 光生舎虹の里 】

**年度行事**

年 月 日			事 項
R6	5	2	GWお楽しみ会
		13	健康診断～31日
	6	7	受水槽清掃消毒
		10	ストレージタンク清掃消毒
	7	9	自動ドア保守点検
		16	外出レク（滝川イオン）
		18	外出レク（ブックリドンキー）
		25	外出レク（ガスト）
		27	光生舎夏まつり
		30	外出レク（ガスト）
8	1	外出レク（滝川イオン）	
	6	外出レク（富良野マルシェ）	
	15	誕生者外出	
	20	外出レク（マック・アクロス）	
	21	日中避難訓練	
	27	外出レク（魚べい・ゲオ）	
	29	外出レク（滝川イオン）	
9	4	敬老写真撮影/外出レク（赤平ベース・イオン）	
	5	外出レク（滝川イオン）	
	10	外出レク（旭川イオン）/建築防火設備点検	
	23	シェイクアウト訓練	
	24	外出レク（魚べい・ゲオ）	
10	3	外出レク（松尾ジンギスカン）	
	8	外出レク（旭川イオン）	
	10	外出レク（旭川イオン）	
	15	利用者健康診断～25日	
	17	外出レク（旭川イオン）	
	22	外出レク（旭川イオン）	
	24	衆議院議員選挙不在者投票	
	25	夜間避難訓練	
11	5	外出レク（旭川イオン）	
	11	ボイラーニ次点検/浄化槽法定検査	
	19	外出レク（びっくりドンキー）	
	21	外出レク（ブックオフ）	
	26	衣類移動販売/インフルエンザワクチン集団接種/地下タンク漏洩検査	
	28	外出レク（旭川イオン）	
12	19	コロナワクチン接種	
7	1	新年お楽しみ会	
	8	自動ドア保守点検	
2	13	食器諸独保管庫入替	
	25	風雪害訓練	

**年度行事（会食）**

年 月 日			事 項
R6	4	9	開所記念会食（すき焼き）
		23	春のお膳会食
		25	誕生者会食（魚べい）
	5	9	鍋会食（ちゃんこ鍋）
		16	誕生者会食（ガスト）
		22	パンピュッフェ
		28	誕生者会食（魚べい）

	6	6	ホットプレート会食
		18	イベント会食
		27	誕生者会食
7	11	ジンギスカン会食	
	23	誕生者会食（魚べい）	
	24	誕生者会食（びっくりドンキー）	
8	8	ジンギスカン会食	
	22	誕生者会食（魚べい）	
9	11	敬老会食	
	12	誕生者会食（びっくりドンキー）	
	26	ステーキ会食	
10	15	鍋会食（もやし鍋）	
	21	誕生者会食（魚べい）	
	23	誕生者会食（魚べい）	
	29	ハロウイン会食	
11	7	鍋会食	
	20	誕生者会食（びっくりドンキー）	
	22	ピザ会食	
	27	誕生者会食（魚べい）	
12	13	大忘年会	
	19	誕生者会食（びっくりドンキー）	
7	1	新年・成人会食	
	28	ホットプレート会食	
	29	誕生者会食（魚べい）	
	30	誕生者会食（魚べい）	
2	20	鍋会食	
	21	誕生者会食	
	25	誕生者会食	
	27	誕生者会食	
3	3	ひな祭り会食	
	18	鍋会食	
	25	誕生者会食	

※避難・防災訓練 年4回実施（日中8月21日、夜間10月25日、シェイクアウト9月23日、風雪害2月25日）

※健康診断 年2回実施

※体重・血圧測定 每月実施

※誕生者会食 毎月実施

【 光生舎フーレビラ 】

**年度行事**

年	月	日	事 項
R6	5	2	GWおたのしみ会
		3	GWおたのしみ会
		21	運動会
		28	健康診断
	6	6	ドライブグルメ 滝川
		11	映画
		15	家族会総会
		26	ドライブグルメ 滝川
7	4	ドライブグルメ 滝川	
		15	映画
		18	ドライブグルメ 滝川
		27	法人夏祭り
8	5	ドライブグルメ 滝川	
		12	お盆おたのしみ会
		13	お盆おたのしみ会
		27	ドライブグルメ 滝川
9	5	ドライブグルメ 滝川	
		17	あにまるキッチン
		23	映画
		24	交通安全街頭啓発（～30日まで）
		26	ドライブグルメ 滝川
10	11	ドライブグルメ 滝川	
		14	映画
		15	健康診断
		23	ドライブグルメ 滝川
		29	秋のお祭り
11	4	映画	
12	7	餅つき	
		24	クリスマス会
R7	1	2	正月おたのしみ会
		3	正月おたのしみ会
2	4	節分	
		7	ドライブグルメ 滝川
		12	ドライブグルメ 滝川
		13	風水害訓練
		18	ダンス♡レボリューション
3	18	ヒットパレード	

**年度行事（会食）**

年	月	日	事 項
R6	4	2	誕生者会食
		16	鍋会食
	5	8	野外会食
		14	ホットプレート会食
	6	4	誕生者会食
		25	野外会食
	7	2	誕生者会食
		9	野外会食
	8	1	誕生者会食
		6	ホットプレート会食

	9	3	誕生者会食
		10	野外会食
	10	3	誕生者会食
		8	野外会食
	11	5	誕生者会食
		19	鍋会食
	12	3	誕生者会食
		17	鍋会食
R7	1	14	誕生者会食
		21	鍋会食
	2	6	誕生者会食
		11	鍋会食
	3	4	誕生者会食
		11	鍋会食

※避難訓練 年3回実施（6月27日消防、12月17日夜間総合、2月20日風水害）

※健康診断 年2回実施（5月28日、10月15日）

※体重血圧測定 毎月実施

※誕生者会食 每月実施

【 光生舎メディック・エル 】

**年度行事**

年 月 日			事 項
R6	4	1	入舎式
	5	2,3	花見（芦別旭ヶ丘公園）
		11	共生ネットワークごみ拾い
	7	2,3,4	買い物支援
		27	夏祭り
	9	14	ふれ愛ウォーク
		28	日帰り厚生旅行
	11	1	外出レク（砂川オアシス）
	12	20	クリスマス会
R7	2	3	節分豆まき

**年度行事（会食）**

年 月 日			事 項
R6	4	13	すきやき会食
	5	2	子どもの日会食
	6	20	野外会食
	7	18	野外会食
	8	22	野外会食
	9	19	ホットプレート会食
	10	17	お弁当会食
	11	21	塩ちゃんこ鍋会食
	12	26	年越し会食
R7	1	23	カレーバイキング会食
	2	20	鍋会食
	3	7	ひな祭り会食

**※避難訓練** 年2回実施（6月18日（総合）、8月20日（夜間）、9月27日（部分）、1月13日（風水害））

**※健康診断** 年2回実施（4月23日、10月24日）

**※体重血圧測定** 每月実施

**※誕生者会食** （4/11、5/16、6/13、7/11、8/8、9/12、11/14、1/16、2/13、3/13）

【 GH翠 】

**年度行事**

年 月 日			事 項
R6	4	1	入舎式
	5	11	共生ネットワークごみ拾い
	7	27	夏祭り
	9	14	ふれ愛ウォーク
		28	日帰り厚生旅行
	12	20	クリスマス会

**年度行事（会食）**

年 月 日			事 項
R6	4	11	すきやき会食
	5	2	こどもの日会食
	6	20	野外会食
	7	18	野外会食
	8	22	野外会食
	9	19	塩ちゃんこ鍋会食ホットプレート会食
	10	17	お弁当会食
	11	21	塩ちゃんこ鍋会食
	12	26	年越し会食
R7	1	23	カレーバイキング会食
	2	20	鍋会食
	3	7	ひな祭り会食

**※避難訓練** 年2回実施（7月23日（総合）、10月17日（夜間））

**※健康診断** 年2回実施（4月23日、10月24日）

**※体重血圧測定** 毎月実施

**※誕生者会食** （4/18、5/16、7/11、8/8、9/12、11/14、1/16、2/13、3/13）

虹の里拠点区分 貸借対照表  
令和7年3月31日現在

第三号第四様式

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年末	増減		当年度末	前年末	増減
<b>流動資産</b>	<b>597,792,655</b>	<b>530,033,489</b>	<b>67,759,166</b>	<b>流動負債</b>	<b>16,940,008</b>	<b>17,204,462</b>	<b>△264,454</b>
現金預金	51,855	82,582	△30,727	事業未払金	7,806,563	6,759,625	2,046,938
事業未収金	53,904,232	53,233,397	670,835	その他の未払金	0	1,006,434	△1,006,434
未収補助金	0	750,000	△750,000	未払費用	2,443,445	3,294,403	△850,958
燃料	1,039,360	353,890	685,470	賞与引当金	6,690,000	7,144,000	△454,000
給食用材料	390,149	310,905	79,244	<b>固定負債</b>	<b>24,222,436</b>	<b>24,128,405</b>	<b>94,030</b>
立替金	73,444	51,646	21,798	退職給付引当金	24,222,436	24,128,405	94,030
前払費用	149,489	504,468	△354,979	<b>負債の部合計</b>	<b>41,162,443</b>	<b>41,332,867</b>	<b>△170,424</b>
<b>拠点区分間貸付金</b>	<b>542,184,126</b>	<b>474,746,601</b>	<b>67,437,525</b>	<b>純資産の部</b>			
<b>固定資産</b>	<b>605,491,778</b>	<b>630,222,623</b>	<b>△24,730,845</b>	基本金	0	0	0
<b>基本財産</b>	<b>557,594,896</b>	<b>581,870,903</b>	<b>△24,076,008</b>	国庫補助金等特別積立金	212,741,143	223,342,011	△10,600,868
土地(基本)	74,506,649	74,506,649	0	その他の積立金	0	0	0
建物(基本)	483,088,246	507,184,254	△24,076,008	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	949,380,847	895,581,234	53,799,613
その他の固定資産	47,896,883	48,551,720	△654,837		63,799,613	55,368,157	△1,568,544
土地(普通)	1,401,387	1,401,387	0				
建物(普通)	402,543	1,000,886	△598,343				
機械及び装置	973,636	1,982,557	△1,008,921				
車輌運搬具	4,917,464	6,283,669	△1,366,215				
器具及び備品	15,014,026	12,470,902	2,543,123				
ソフトウェア	918,143	1,204,765	△286,622				
退職給付引当資産	24,222,436	24,128,405	94,030				
長期前払費用	47,260	79,149	△31,889	<b>純資産の部合計</b>	<b>1,162,121,990</b>	<b>1,118,923,245</b>	<b>43,198,745</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>1,203,284,433</b>	<b>1,160,256,112</b>	<b>43,028,321</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,203,284,433</b>	<b>1,160,256,112</b>	<b>43,028,321</b>

**流動比率** 流動資産 597,792,655 ÷ 流動負債 16,940,008 × 100 = 3528.9%

目安 100%以下 危険 100%～200%安全

→ 短期的な安全性はとても良い状態です。

**自己資本比率** 純資産 1,162,121,990 ÷ 総資産 1,203,234,433 × 100 = 96.6%

目安 30%以上なら安定 50%以上ならより安定の優良

→ 中長期的な安全性はとても高い状態です。

**固定比率** 固定資産 605,491,778 ÷ 総資産 1,203,284,433 × 100 = 50.3%

目安 100%未満なら安全

→ 長期的な支払い能力はあり、安全な状態です。

**固定長期適合率** 固定資産 605,491,778 ÷ (自己資本 1,162,121,990 + 固定負債 24,222,436) × 100 = 51.0%

目安 100%未満だと健全、120%まで要注意 150%程度になると危険信号

→ 財務状況は健全と判断できる状態です。

## フーレビラ拠点区分 貸借対照表

令和7年3月31日現在

第三号第四様式

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流动資産	855,679,089	793,523,419	62,155,670	流动負債	20,335,405	31,050,967	△10,715,562
現金預金	107,448	131,505	△24,057	事業未払金	2,874,062	3,842,508	△968,446
事業未収金	45,765,405	46,014,276	△248,871	その他の未払金	31,329	39,114	△7,785
燃料	483,000	642,000	△159,000	1年内返済予定設備資金借入金	9,578,000	18,996,000	△9,418,000
給食用材料	190,576	195,239	△4,663	未払費用	1,736,014	2,629,345	△893,331
立替金	44,532	14,585	29,947	賞与引当金	6,116,000	5,544,000	572,000
前払費用	377,599	378,774	△1,175	固定負債	16,125,785	25,882,640	△9,756,855
拠点区分間貸付金	808,710,529	746,147,040	62,563,489	設備資金借入金	0	9,578,000	△9,578,000
固定資産	191,656,360	209,072,237	△17,415,877	退職給付引当金	16,125,785	16,304,640	△178,855
基本財産	160,842,500	173,662,342	△12,819,842	負債の部合計	36,461,190	56,933,607	△20,472,417
土地(基本)	22,071,705	22,071,705	0	純資産の部			
建物(基本)	138,770,795	151,590,637	△12,819,842	基本金	0	0	0
その他の固定資産	30,813,860	35,409,895	△4,596,035	国庫補助金等特別積立金	2,635,864	2,755,319	△119,455
土地(普通)	450,000	450,000	0	その他の積立金	0	0	0
機械及び装置	175,383	240,833	△65,450	次期繰越活動増減差額	1,008,238,395	942,906,730	65,331,665
車輌運搬具	334,510	754,491	△419,981	(うち当期活動増減差額)	65,331,665	86,401,304	△21,069,639
器具及び備品	13,456,946	17,071,817	△3,614,871	純資産の部合計	1,010,874,259	945,662,049	65,212,210
ソフトウェア	83,364	123,378	△40,014	負債及び純資産の部合計	1,047,335,449	1,002,595,656	44,739,793
退職給付引当資産	16,125,785	16,304,640	△178,855				
長期前払費用	187,872	464,736	△276,864				
資産の部合計	1,047,335,449	1,002,595,656	44,739,793				

流動比率 流動資産 855,679,089 ÷ 流動負債 20,335,405 × 100 = 4207.8%

目安 100%以下 危険 100%~200%安全

→ 短期的な安全性はとても良い状態です。

自己資本比率 純資産 1,010,874,259 ÷ 総資産 1,047,335,449 × 100 = 96.5%

目安 30%以上なら安定 50%以上ならより安定の優良

→ 中長期的な安全性はとても高い状態です。

固定比率 固定資産 191,656,360 ÷ 総資産 1,047,335,449 × 100 = 18.3%

目安 100%未満なら安全

→ 長期的な支払い能力はあり、安全な状態です。

固定長期適合率 固定資産 191,656,360 ÷ (自己資本 1,010,874,259 + 固定負債 16,125,785) × 100 = 18.7%

目安 100%未満だと、健全、120%まで要注意 150%程度になると危険信号

→ 財務状況は健全と判断できる状態です。

## メディック・エル拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式

令和7年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度	前年度	増減		当年度	前年度	増減
流动資産	1,034,075,992	884,838,259	149,237,733	流动負債	56,858,614	68,938,001	△12,079,387
現金預金	610,599	592,488	18,111	事業未払金	27,190,904	33,550,584	△6,359,680
事業未収金	20,499,693	19,954,370	545,323	その他の未払金	2,990,003	2,472,954	517,049
未収金	149,928,297	157,254,234	△7,325,937	1年以内返済予定設備資金借入金	14,808,000	14,808,000	0
燃料	1,451,520	896,400	555,120	1年以内返済予定リース債務	0	5,485,320	△5,485,320
商品	1,610,213	1,418,552	191,661	未払費用	2,837,707	4,850,143	△2,012,436
給食用材料	181,234	144,669	36,565	賞与引当金	9,032,000	7,771,000	1,261,000
原材料	13,343,489	9,238,765	4,104,724	固定負債	47,226,175	58,584,775	△11,358,600
前払費用	2,681,770	3,202,316	△520,546	設備資金借入金	24,640,000	39,448,000	△14,808,000
拠点区分間貸付金	843,769,177	692,136,465	151,632,712	退職給付引当金	22,586,175	19,136,775	3,449,400
固定資産	754,135,864	794,352,530	△40,216,666	負債の部合計	104,084,789	127,522,776	△23,437,987
基本財産	448,605,204	476,880,923	△28,275,719	純資産の部			
土地(基本)	25,424,523	25,424,523	0	基本金	0	0	0
建物(基本)	423,180,681	451,456,400	△28,275,719	国庫補助金等特別積立金	86,141,977	91,704,806	△5,562,829
その他の固定資産	305,530,660	317,471,607	△11,940,947	その他の積立金	0	0	0
建物(普通)	1	1	0	次期繰越活動増減差額	1,597,985,090	1,459,963,207	138,021,883
機械及び装置	130,345,053	150,335,353	△19,990,300	(うち当期活動増減差額)	138,021,883	151,526,824	△13,504,941
車輌運搬具	4,106,160	5,480,356	△1,374,196				
器具及び備品	4,622,211	1,416,464	3,205,747				
ソフトウェア	125,044	209,066	△84,022				
リネン品	141,117,074	139,198,560	1,918,514				
退職給付引当資産	22,586,175	19,136,775	3,449,400				
差入保証金	2,500,000	1,500,000	1,000,000	純資産の部合計	1,684,127,067	1,551,668,013	132,459,054
長期前払費用	128,942	195,032	△66,090	負債及び純資産の部合計	1,788,211,856	1,679,190,789	109,021,067
資産の部合計	1,788,211,856	1,679,190,789	109,021,067				

流動比率 流動資産 1,034,075,992 ÷ 流動負債 56,858,614 × 100 = 1818.7%

目安 100%以下 危険 100%~200%安全

→ 短期的な安全性はとても良い状態です。

自己資本比率 総資産 1,684,127,067 ÷ 総資産 1,788,211,856 × 100 = 94.2%

目安 30%以上なら安定 50%以上ならより安定の優良

→ 中長期的な安全性はとても高い状態です。

固定比率 固定資産 754,135,864 ÷ 総資産 1,788,211,856 × 100 = 42.2%

目安 100%未満なら安全

→ 長期的な支払い能力はあり、安全な状態です。

固定長期適合率 固定資産 754,135,864 ÷ (自己資本 1,684,127,067 + 固定負債 47,226,175) × 100 = 43.6%

目安 100%未満だと健全、120%まで要注意 150%程度になると危険信号

→ 財務状況は健全と判断できる状態です。

GII翠拠点区分 貸借対照表  
令和7年3月31日現在

第三号第四様式

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度	前年度	増減		当年度	前年度	増減
流动資産	8,843,026	6,533,683	2,309,343	流动負債	2,053,364	1,857,143	196,221
現金預金	2,200	2,200	0	事業未払金	250,783	171,393	79,390
事業未収金	5,623,606	5,150,036	473,570	その他の未払金	271,405	296,993	△25,588
前払費用	74,083	74,280	△197	未払費用	310,176	361,757	△51,581
拠点区分間貸付金	3,143,137	1,307,167	1,835,970	賞与引当金	1,221,000	1,027,000	194,000
固定資産	56,021,847	59,375,789	△3,353,942	固定負債	2,915,400	2,531,280	384,120
基本財産	51,752,138	55,630,585	△3,878,447	退職給付引当金	2,915,400	2,531,280	384,120
土地(基本)	1,405,547	1,405,547	0	負債の部合計	4,968,764	4,388,423	580,341
建物(基本)	50,346,591	54,225,038	△3,878,447	純資産の部			
その他の固定資産	4,269,709	3,745,204	524,505	基本金	0	0	0
構築物	972,353	1,121,747	△149,394	国庫補助金等特別積立金	1,621,062	1,757,062	△136,000
器具及び備品	354,278	9,143	345,135	その他の積立金	0	0	0
退職給付引当資産	2,915,400	2,531,280	384,120	次期繰越活動増減差額	58,275,047	59,763,987	△1,488,940
長期前払費用	27,678	83,034	△55,356	(うち当期活動増減差額)	△1,488,940	59,763,987	△61,252,927
資産の部合計	64,864,873	65,909,472	△1,044,599	純資産の部合計	59,896,109	61,521,049	△1,624,940
				負債及び純資産の部合計	64,864,873	65,909,472	△1,044,599

流動比率 流動資産 8,843,026 ÷ 流動負債 2,053,364 × 100 = 430.7%

目安 100%以下 危険 100%~200%安全

→ 短期的な安全性はとても良い状態です。

自己資本比率 総資産 59,896,109 ÷ 総資産 64,864,873 × 100 = 92.3%

目安 30%以上なら安定 50%以上ならより安定の優良

→ 中長期的な安全性はとても高い状態です。

固定比率 固定資産 56,021,847 ÷ 総資産 64,864,873 × 100 = 86.4%

目安 100%未満なら安全

→ 長期的な支払い能力はあり、安全な状態です。

固定長期適合率 固定資産 56,021,847 ÷ (自己資本 59,896,109 + 固定負債 56,021,847) × 100 = 48.3%

目安 100%未満だと健全、120%まで要注意 150%程度になると危険信号

→ 財務状況は健全と判断できる状態です。

## **B C P の策定状況について**

### **1. B C P とは**

Business Continuity Plan → 事業継続計画

災害や感染症の流行などの緊急事態が発生した場合でも、重要な業務を継続するための計画です。障害福祉サービス事業者にとってBCPは、利用者の生活を支える上で重要なサービスを中断させない、もしくは迅速に復旧させるための手段として重要な役割を果たします。

### **2. B C P の必要性**

障害福祉サービスは、利用者やその家族の生活に直接関わるため、サービスが中断すると生活に大きな影響を与える可能性があります。特に新型コロナウイルス感染症の流行時には、感染拡大防止と業務継続の両立が求められました。BCPを策定し、平常時から準備を進めることができ、非常時における迅速な対応とサービスの継続を可能にします。

令和6年法改正により、障害福祉サービス事業者はBCPの策定が義務化されています。

### **3. B C P の構成要素**

1. 総則：BCPの基本方針や目的を明確に。
2. リスクの把握：施設が直面する可能性のあるリスクを特定し、ハザードマップなどを用いて把握します。
3. 優先業務の選定：非常時に優先して実施すべき業務を決定します。
4. 推進体制：BCPの推進体制を整備し、具体的な役割分担を決めます。
5. 資源の確保：必要な資源（職員、防護具、消毒液など）の確保と管理を行います。
6. 訓練と評価：BCPの有効性を確保するために、定期的な訓練と評価を実施します。

### **4. 本年度のB C P 取り組み状況**

①メディク・エル GH翠

- ・ B C P 策定済み
- ・ B C P に基づく訓練として緊急連絡網のテストを実施
- ・ 防災対策委員会内でのBCPの評価、災害食の消費期限確認と更新を実施

④フーレビラ

- ・ B C P 策定済み（現状に合わせた更新）
- ・ B C P に基づく訓練実施

⑤虹の里

- ・ B C P 策定済み
- ・ B C P に基づく訓練と評価の実施 災害時・感染症それぞれ第三四半期に実施を予定

## **虐待・事故・ヒヤリハット報告【虹の里】**

### **1. 虐待**

虐待と認定した対応はありませんでした。

### **2. 場面観察**

2024年月に法人内虐待防止委員会の場面観察を実施

- ・浴室前で待っている利用者さんに対して、声掛けなく車椅子を動かしていたことが気になった。
  - ・コールが長く鳴っていたことが気になった。（外出レクと受診が重なり、介護員が少なくなっていた時間帯でであった。）
  - ・利用者さんの衣服や身だしなみが綺麗で良い。
  - ・トイレのアコーディオンカーテンでも、声で「トントン、入ってもいいですか」など声掛けして返答があってからの対応が良かった。
- とのご意見をいただきました。

### **3. 研修実施状況**

7月 虐待の5つの定義と不適切ケアについて

2月 身体拘束適正化研修 車いすティルト

2月～3月 虐待防止伝達研修「権利擁護と意思決定支援」

法人虐待防止研修 2名参加

高齢者・障がい者虐待防止セミナーオンライン 2名参加

## **虐待・事故・ヒヤリハット報告【フーレビラ】**

### **1. 虐待 2024年4月 ~ 2025年3月**

虐待と認定した対応はありませんでした。

### **2. 虐待防止研修について**

10月 虐待防止施設長研修

対象：施設長、管理職員

12月 虐待防止基本研修

対象：職員

3月 虐待防止内部研修

対象：職員

## 虐待・事故・ヒヤリハット報告【メディック・エル、GH翠】

### 1. 虐待

虐待と認定した対応はありませんでした。

### 2. 場面観察から出された意見

#### 2024年8月

一部の利用者同士での言い合いが気になる

#### 2024年10月

Tシャツ襟部分に穴が開いている利用者がいた為、声掛けを行い交換してもらっていた

#### 2024年11月

汗をかいているのに声掛けしても頑なに上着を脱がない利用者がいる

仕分けでマスクをしていない、帽子を逆にかぶっている作業者がいる

一部の利用者が気になる（前日と同じ服、入浴等）

#### 2025年1月

細川係に対して、利用者が「ほそ」とあだ名で呼ぶ事が今まで何度か見かけた

作業帽子を被ったまま食堂に入って来る利用者には都度声掛けしている。

### 3. セルフチェックから出された意見

#### 2024年6月

服が汚れていたり、不潔な状態を放置していないかの問い合わせに声は掛けているが改善されない

不適切なケアとは何か覚えているかの問い合わせに日頃思い出す事が出来ていない

#### 2024年8月

利用者の訴えを聞いて対応しているかの問い合わせにどのような訴えをどこまで聞くべきか難しい

#### 2024年9月

服が汚れていたり、不潔な状態を放置していないかの問い合わせに声は掛けているが本人が守ってくれない。バカ・アホなど言われるがどうにか着替えてもらっている。

#### 2024年11月

服が汚れていたり、不潔な状態を放置していないかの問い合わせに着替えて下さいと言っても嫌な顔されたりするが、そのままにしないように気をつけている

利用者の呼びかけ無視しないの問い合わせに無視をするわけではありませんが、二人同時に話し掛けられて困る事がある。

### 4. 虐待防止研修について

10月15,16,17日 利用者の人権擁護 なぜ利用者をさん付するのか

対象：職員・一般舎員

10月10日 コミュニケーション方法の注意点

対象：利用者

2月17,18,19日 障害者虐待防止法について

対象：職員